

**1 研究主題** 喜びと楽しさを味わいながら学ぶ授業づくり

**2 研究の概要**

- ・南魚沼市学習指導センター主催の研修講座や、講演会への参加による自主研修
- ・実践レポートをもとにした夏季研修会

**3 研究の実際**

(1) 学習指導センターの研修講座への参加

第1回部会での年間活動計画の話し合いにおいて、学習指導センターが主催する4回の英語活動研修に、一人2回以上の参加を目標とした。各研修会に参加した部員からは、研修の内容と感想を報告してもらった。

- 7月31日 小・中学校必修講座「自己関与あるコミュニケーション活動の継続」  
＜参加部員からの報告＞  
「全人教育」としての英語教育であることを強く感じた。また、英語教育は自己表現する喜びと、友達と触れ合う楽しさを感じさせることが大切で、指導の基盤にあるのは学級経営であることを改めて感じた。
- 10月7日 小学校国際科「英語授業が苦手と感じている先生」の講座  
＜参加部員からの報告＞  
指導主事自らALTとテンポよく授業を行い、生き生きと活動している子どもたちの姿を見て感動した。週1時間でしかない国際科の授業であるが、ALTに頼って授業を行っている自分を反省している。
- 11月12日 英語教育講演会「英語教育における現状の成果と課題」  
＜参加部員からの報告＞  
講師の吉田研作先生から日本人と英語の現状を聞き、小学校における英語の教科化は自然の流れであり、すぐ目の前に迫ってきていることを感じた。その時に備えて、今から授業力を高めておかなければならない。
- 11月28日 一般研修講座「国際科公開授業講座」  
＜参加部員からの報告＞  
担任が意識して、日々の学校生活の中で英語表現を少し取り入れ、継続していくことで、子どもたちの英語力とコミュニケーション能力を高めることができるのだと感じた。

(2) 実践レポート研修

研究主題をふまえた実践レポートを持ち寄り、実践報告と情報交換を行った。学校独自で行っている活動や、自学級での授業実践がたくさん紹介された。部員からは、「自分の学校や学級でも生かそうな取組があり、今後の指導の参考となるよい研修会だった。」という感想が聞かれ、好評であった。

**4 成果と課題**

学習指導センター主催の研修会は、部で目標に定めた「一人2回以上の参加」は難しかった。しかし、参加した部員はそれぞれの研修会でたくさんの学びと刺激を受けてきた。今後も学習指導センターの研修会に英語活動部として積極的に参加し、自らの指導法を高めていく必要がある。

レポート研修は、自らの実践の振り返りをするよい機会となった。また、授業に対する悩みや今後の小学校における英語の教科化等の情報交換も行い、自らの授業力向上に対する意識が高まった。